

## 令和6年度魚津市市民公開講座を開催いたしました

令和7年2月16日（日）13時30分より新川文化ホールにて、富山ろうさい病院主催、魚津市医師会・魚津市共催、富山県が後援となり令和6年度魚津市市民公開講座を開催いたしました。今回は『糖尿病と認知症～魚津市民のより良い健康長寿のために～』をテーマとし、シンポジウムを行いました。

シンポジウムの座長を当院脳神経内科部長の久保 雅寛先生が努め、当院認知症認定看護師の杉本 みどり看護師が『認知症患者への支援』について、魚津緑ヶ丘病院副院長、にいかわ認知症疾患医療センターセンター長の紋川 明和先生が『認知症の治療と予防』について、当院糖尿病・内分泌科部長、老年科専門医、認知症専門医、糖尿病専門医の村上 史峰先生が『糖尿病と認知症～高齢者が自立／自律した日常生活を営み続けるための共生社会実現に向けて～』について講演いたしました。

杉本看護師の『認知症患者への支援』では、超高齢社会の中で認知症は誰にでもなる可能性があるため、認知症の進行を遅らせる関わり方を中心に、「手紙～親愛なる子供たちへ～」の詩を交えながら講演いただきました。

紋川先生の『認知症の治療と予防』では、身近な場所で、安心して認知症に関する医療が受けられるよう、都道府県の指定により開設された認知症の専門医療機関であるにいかわ認知症疾患医療センターの役割と受診時の対応、アルツハイマー型認知症のお薬の歴史と現在のお薬（レケンビ・ケサンラ等）について、認知症予防についてご講演いただきました。

村上先生の『糖尿病と認知症』では、高齢者が自立（自分のことは自分で行う）／自律（自分のことは自分で行う）した日常生活を営み続けるための共生社会実現に向けてをテーマに、認知症の方や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」を両輪とし、認知症の方が認知症と共に希望を持って生きるという新しい認知症観に立って施策を進めていくことが重要であることや魚津市の人口の推移・平均寿命の情報等を交えながら、「糖尿病」と「認知症」の現状と今後の展望についてご講演いただきました。参加された方からは多数の質問が寄せられ、時間の許す限り3名の演者の方に回答していただき、好評のうちに幕を閉じました。

